

## 令和7年度 地域連携推進会議記事録

実施場所：グループホーム なごみ 娛樂室

実施日時：2025年9月12日（金） 14時00分～15時00分

実施者：グループホーム施設管理者 門内裕子、グループホーム生活支援員 高瀬翔伍

主席者：自治会会長 1名、たつの健康福祉事務所 保健師 2名、利用者成年後見人、いぼがわ福祉センター 1名、利用者 1名

---

### 1、開会挨拶

管理者 門内より開会の挨拶を行う。

### 2、出席者紹介

出席者全員が自己紹介を行う。

### 3、会議進行

管理者 門内より以下の内容を説明する

- グループホームの紹介

共同生活する場を提供し生活相談を含め日常生活や社会生活上のサポートを行う。

- 地域連携推進会議の概要について

- ・利用者と地域の関係づくり
- ・地域の人への施設等や利用者に関する誓いの促進
- ・サービスの透明性・質の確保
- ・利用者の権利擁護

- グループホームの事業報告

利用者の年齢層等の状況 施設での行事、委員会・研修活動等報告

### 4、グループホーム見学

なごみ棟の見学を行う。

部屋の状況や娛樂室・台所・掃除当番等を説明する。

### 5、閉会挨拶

管理者 門内より閉会の挨拶を行う。

□ 質疑応答

- ・ スタッフは何名ですか

→10 名です。

- ・ 地域の行事に GH の方の参加がみられないのですが、年始の頓戸（とんど）等、参加していただければ

→ここ数年は不参加でした。地域の行事にお誘い頂きありがとうございます。

- ・ 部屋の空きがあるのはどうしてですか。

→問い合わせあるが、本人の病状が悪い状態での問い合わせや、また遠方のかつ家族等がいない方からの問い合わせ等があり、夜間職員がいない状況等から受け入れが難しい事例があります。

一方で現在 2 名の見学希望があり、見学等の調整を行っていく予定です。

- ・ デイケア、OT（作業療法）。就労継続支援 B 型はどんなところですか

→デイケアは日常生活や社会復帰を目的とした通所型リハビリテーションの場。レクリエーションやプログラムを通して生活リズムの改善や対人関係スキル向上等を目的としています。作業療法も日常生活や社会生活をよりよく送れるよう支援するリハビリテーションで個々に応じたアプローチを行っています。

→就労継続支援 B 型はグループホームと同様障害福祉サービスの一つで障害や年齢、体力等の理由から一般企業で雇用契約を結んで働くことが難しい方に対して就労の機会や生産活動の場として支援を行っている場となります。

- ・ 80 歳以上の方がいらっしゃるが、今後はどのような対応を取られる予定ですか

→本来であればサービス付き高齢者住宅や介護保険の施設の利用の年齢だが、金銭面や家族と疎遠になっている現状等があること、また本人自身も生活能力がしっかりとしている部分もあり、グループホームとしてもこの点は課題となっています。

過去の事例としては、精神状態の悪化や認知機能低下で病院への入院となり、病院での生活をされているといった事例もあります

- ・ 市役所の方などの参加はどうでしょうか

→今後は市役所の障害福祉課や相談支援事業所等より支援と近い機関にもお声かけしていきます。

- ・ なごみ棟の一階にあるあゆみはグループホームとは違いますか。

→同法人ですが、異なる障害福祉サービスで「あゆみ」は就労継続支援 B 型になります。主にパンの製造を行っています。グループホームの利用者も「あゆみ」の利用行っています。